



2025 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社シャノン
代表者名 代表取締役 CEO 山崎 浩史
(コード：3976 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 友清 学
(TEL：03 - 6743-1551)

2025 年 12 月期 連結業績予想に関するお知らせ

2025 年 3 月 14 日に公表いたしました「2025 年 10 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました 2025 年 12 月期の連結業績予想(2024 年 11 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)について、下記のとおりお知らせいたします。

なお、2025 年 3 月 14 日に公表いたしました「決算期(事業年度末日)変更に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は事業年度の末日を 10 月 31 日から 12 月 31 日に変更しております。また、当該決算期変更の経過期間となる 2025 年 12 月期は、2024 年 11 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの 14 か月決算となります。

1. 連結業績予想値について

2025 年 12 月期(2024 年 11 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)の連結業績予想

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想 (B)	3,230	20	△18	△135	△25.28
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024 年 10 月期)	3,206	△51	△53	△101	△31.97

2. 個別業績予想について

2025 年 12 月期（2024 年 11 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）の個別業績予想

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想（B）	3,210	△23	△140	△26.22
減 額 （B－A）	—	—	—	—
増 減 率 （％）	—	—	—	—
（参考）前期実績 （2024 年 10 月期）	3,032	△108	△192	△60.71

3. 公表の理由

当社は、前連結会計年度末において債務超過になっていたことに鑑み、事業再編等を検討していたこと等より 2025 年 12 月期の連結業績予想の開示を一時的に見送っていました。今般、経営体制の刷新及び事業再編に一定の目途がついたことから、2025 年 12 月期の連結業績予想を公表するものです。

4. 連結業績予想の背景

当社は、2025 年 4 月 21 日に開催した臨時株主総会及びその後の取締役会を経て、新たな経営及び執行体制に移行し、従来の赤字経営を改め、早期の黒字転換に向けて経営変革をスタートしています。業績面における最重要の経営 KPI として、直近の売上高成長率（特に当社主力事業のサブスクリプション売上の直近 5 期 CAGR 実績 13.4%）の維持、売上高販管費率の 55%未満を設定し、早期に営業黒字への回帰、更には当期純利益の黒字化を目指します。

当社売上高の 50%超は年間契約に基づくストック型収益である事業特性も踏まえると、売上高成長率の維持+適切なコストコントロール、つまりは生産性改善を中心とした事業運営の練度向上により、営業利益ベースでの黒字転換は速やかに実現できる見込みであり、そのことを反映した連結業績予想としています。

加えて、本日付で親会社である株式会社イノベーションとの間で締結しました資本業務提携に基づく経営リソースの融合も寄与することを考えると、営業利益率は今後 2～3 年程度のオーガニック成長を前提に 10%を超える水準まで改善する見込みです。これにより、従来の経営とは異なり「利益成長に伴う株主価値の向上」が顕在化していくものと考えています。

このような状況下において、当社は経営再建施策と同時に成長施策にも並行着手し、中長期視点では、「国産 MA の No.1 ポジションの獲得」、更には「人材・技術・マルチプロダクトを高度に融合させた SaaS 事業体」へ進化させることを目指して事業運営に注力していきます。

以 上